国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 22 年 9 月 30 日

各　位

会社名　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　板野 和彦
電話番号　03-5572-0233

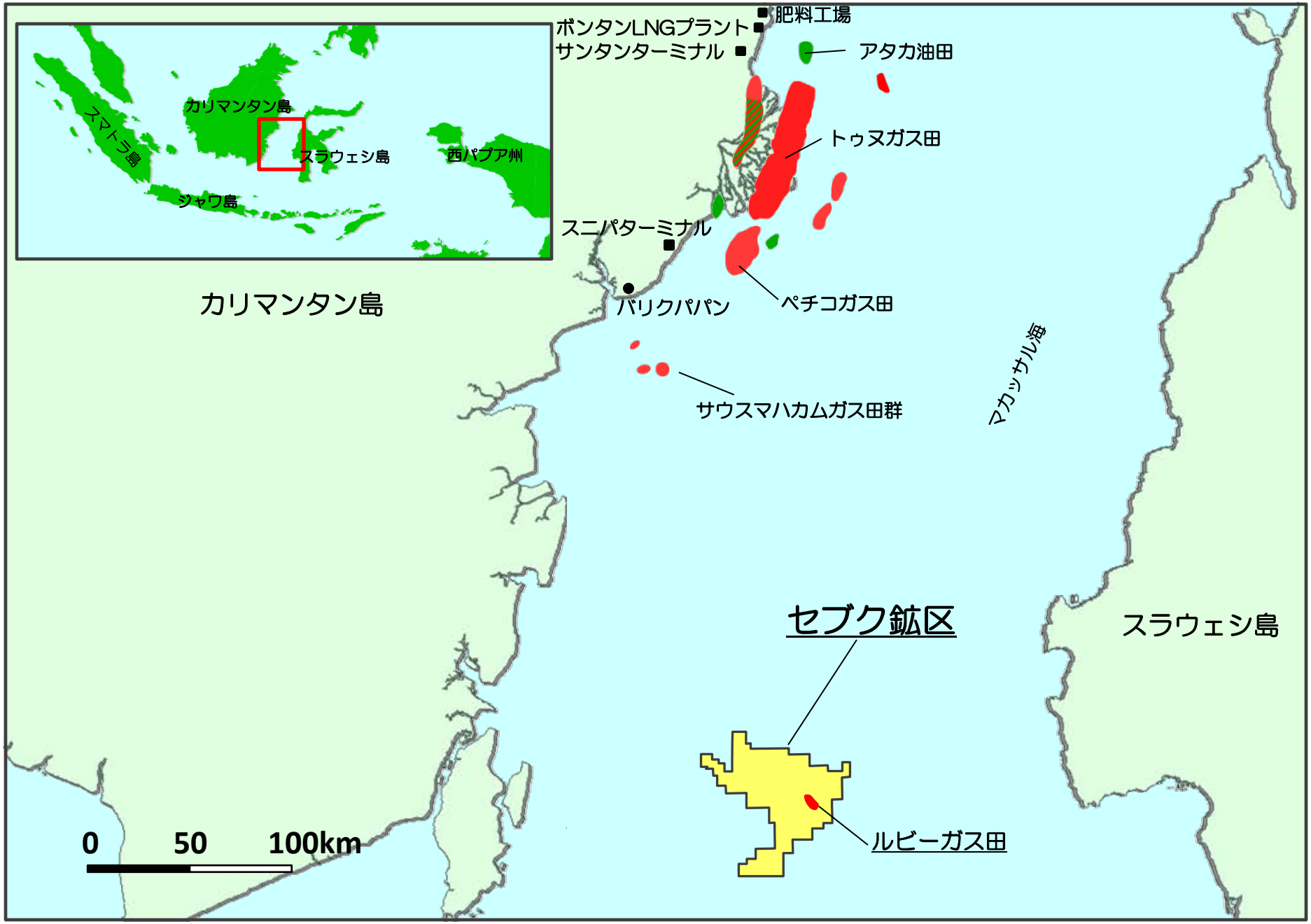
インドネシア共和国 既発見未開発セブク鉱区権益の取得について

国際石油開発帝石株式会社は、子会社であるインペックス南マカッサル石油株式会社を通じ、インドネシア共和国南マカッサル海域セブク鉱区権益の 15%を、パールエナジー社(注)の子会社パールオイル セブクリミティッド（パールオイル社）から取得することについて、インドネシア政府の承認を得ましたので、お知らせいたします。

セブク鉱区は、当社が開発・生産事業を実施しているマハカム沖鉱区の南約 300kmに位置する既発見未開発ガス田を有する海上鉱区であり、鉱区面積は約 2,345km^2、水深は 50～200mです。この鉱区では、これまでの複数の試掘井および評価井の掘削結果等からルビーガス田の存在が確認されており、同ガス田の開発計画は 2008 年 7 月にインドネシア政府より承認されております。将来的にはマハカム沖鉱区の施設へのつなぎ込みによる開発を想定しているほか、さらなる探鉱ポテンシャルを有する鉱区です。インペックス南マカッサル石油㈱は権益の 15%を保有し、オペレーターで権益の 70%を保有するパールオイル社および 15%を保有するトタール社とともに、2013 年の生産開始を目指し、本鉱区における探鉱・開発作業を実施してまいります。

当社は、その事業活動の中核的地位を占めるインドネシアで、東カリマンタンマハカム沖鉱区における 50%の参加権益を保有し、原油・天然ガスの開発・生産事業を実施しており、また、アラフラ海域沖合マセラ鉱区では、オペレーターとして発見したアバディガス田の開発準備作業を実施している等、合計 10 鉱区にて探鉱・開発・生産事業を展開しております。当社は、今後ともインドネシアでの事業に積極的に取り組んでまいります。

以上

（注）パールエナジー社
アラブ首長国連邦アブダビ政府系投資会社ムバダラ社の 100％子会社。東南アジアでは主にインドネシアおよびタイで油ガス田の操業を実施しており、現在、インドネシアに 10 の鉱区を保有しており、うち、オペレーターとして 7 つの鉱区で作業を実施中。

インドネシア共和国 南マカッサル海域 セブク鉱区位置図